



もらいました。前々から丹波篠山への移住を希望していたこともあり、ご縁をいただいてこの地へ引っ越してまいりました。

Mランドに入社し、挨拶や掃除を大切にしていることを知りました。基礎中の基礎をしっかりとこだわることで、日々の心の「けがれ」も消えていくと学び、感銘を受けました。



笑顔

昨年初めて参加したMランドフェスタでは、寺田インストラクターと共に司会をさせていただきました。学び、感動し、そして更なる絆がこのフェスタを通じて深まり、人と関わることの素晴らしさを改めて感じました。

これから、教習だけでなく沢山の人の関わりで、学び、経験を積み重ねて成長し、のびのびと暮らしていけたらと思っています。

まだ丹波篠山に来て半年ほどですが、なぜかとても居心地が良く、既にふるさとのように感じています。このまちがより一層、居心地のいい、誰かの「第二のふるさと」となるよう、活性化に貢献してまいります。

日々新面目あるべし

共習・共育部

課長 長谷川 泰之

「誠に勝手ながら、本年をもちまして年賀状によります年始のご挨拶を失礼させていただきます。ただ、存じます」年々、このような年賀状をいただく機会が増え、何とも言えない物寂しさを覚えてます。今やメールやLINE等の手軽で便利な通信手段が普及し、趣向を凝らした年賀状も、最早「時代遅れ」といったところなのでしょうか。



小河会長講話

年頭の小河吉彦会長のご講話にもあったように、現代社会は物理的には豊かにな

りましたが、心の豊かさはどうでしょうか。コストパフォーマンスやタイムパフォーマンスといった「効率」だけが最優先され、年賀状一つとっても、人と人の繋がりがどんどん希薄になっていくように感じます。世界規模の異常気象や、大国の力による現状変更など、これまでのやり方が通用しない不安定な世の中において、Mランド丹波さき山校が地域社会のために何ができるのか、何をしなければならぬのか、今改めて問われています。

今年のMランド丹波さき山校の定性目標は「美しくなりたく候」くありがとうと言っていただける仕事をしようです。「美しさ」とは単に綺麗な状態を指すのではなく、そこに至るまでにどれだけ考え、時間や労力を使ったかを感じさせるものでなければなりません。それは何事にも手を抜かないという態度であり、仕事の裏側にまでこだわる誠実さである。小河会長は説かれました。正に「凡事徹底」。掃除や礼儀礼節など、当たり前のことを徹底して実行することだ。と意を強くいたしました。

今年（うまし）は午年。挑戦や飛躍など、目標に向かって突き進むポジティブなイメージがあります。実は私、本年は年男でございます。年々、体も思うように動かなくなり、寄る年波を感じる機会も増えてきました。しかし、それを悲観することなく、一日一日を大切にしていきたいと存じます。競走馬のような華やかさはなくとも、農耕馬のように力強く周りを牽引していけるよう努力して参ります。

大募集

管理者

永見 倫幸

Mランド丹波さき山校では、令和五年四月より、準中型免許の指定（教習所内で検定試験が可能になる資格）を取得するための「指定前教習」を実施しております。この取り組みは、多様化するお客様のニーズに

より多くのゲストをお迎えしたいという想いから始めた教習ですが、まだ指定取得には至っていません。現在までに二十五名の方にご参加

いただき、皆さまの熱心な教習への姿勢が、私たちインストラクターにとって大きな糧となっております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

指定を取得するためには、非常に高いハードルを越えなければなりません。準中型指導員の資格を持つインストラクターが教習を行い、その教習を受けた方が、明石運転免許試験場で実施される技能試験において「十人連続で合格」することが条件となります。

しばらくの間中断しておりましたこの教習ですが、本年四月よりいよいよ再開する運びとなりました。これから準中型免許の取得を検討されている皆さま、ご参加を職員一同心よりお待ちしております。



準中型車両

ありがとうカード

Mランドの皆様

2週間という短いようでも長い期間でしたが、本当にありがとうございました!!先生方や事務員の方、MIROの店員さん、みんなとても優しく笑顔で接してくださりと、とっても心が温まることばかりでした。手厚く優しく教えてくださった先生方、分からないことがあったときに優しく丁寧に説明してくださった事務員さん、いつもおいしいご飯を用意してくださったMIROの店員さん、皆さん本当にありがとうございました!

青山 結香

編集後期

今月号は、ほとんどの記事に「笑う」という言葉が溢れる、明るい一冊となりました。新春ビンゴ大会では、私もガラガラを回しながら職員皆さんの楽しい笑顔を見て、自然と心が緩み、自身も笑顔になっていたことを思い出しました。

これからMランドは、多くの出会いが生まれる繁忙期を迎えます。この笑顔を絶やさず、ゲストの皆さまへしっかりと「笑う」を繋いでまいります。

近藤 正幸